

会 議 録

会 議 の 名 称	朝霞市立朝霞第六小学校第1回学校運営協議会	
開 催 日 時	令和5年5月8日(月)午前9時00分から 午前10時30分まで	
開 催 場 所	朝霞市立朝霞第六小学校家庭科室	
出 席 者	学校運営委員7名、事務局3名(教頭2名、主幹教諭)	
会 議 内 容	1 開会のことば 2 学校運営協議会 委員長挨拶 3 学校長挨拶 4 新委員の任命書交付 5 協議 (1) 令和5年度の学校経営方針について (2) オーセンティックな学びの推進について (3) 増築工事に伴う課題点について (4) その他 6 閉会の言葉	
会 議 資 料	・会議次第	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした 場合の当該電磁的記録の保 存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
会議録の確認方法 委員長による確認		
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴者 0人	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会のことば

2 学校運営協議会 委員長あいさつ

3 学校長挨拶

4 新委員の任命書交付

- ・鈴木幸恵さん新委員に任命。校長より任命書交付。
- ・各委員自己紹介。

5 協議

（1）令和5年度の学校経営方針について

校長：（学校経営方針説明）

- ・本年度は理論と実践の往還である。自立と探究オーセンティックとウェルビーイングをキーワードとする。令和4年度は教員と児童は変化を実感したが、保護者から効果が見えにくい現状があった。令和5年度は家庭とさらに連携を行っていききたい。情報、データベースを中心に教師、児童が共に学ぶようにしていく必要がある。社会的実用的文脈、学問的文化的文脈を学び、生きて働く力を身に付けさせる。教育振興計画が国から出され、①持続可能な社会の作り手の育成②日本社会に根差したウェルビーイングの向上が重視されている。モットソッカ、eライブラリのさらなる活用を行う。

委員：アンケート結果の感じ方について。発信の仕方を工夫してはどうか。研修会等の発信を強く出してはどうか。教員の学びも発信。各家庭の考え方の違いもあるが、子供からの発信だけではなかなか伝わらない可能性がある。

委員：校長の価値観をいかに教員に共有するか。重要性を感じる。

委員：家庭環境が難しい児童をどう引き上げるか。その手助けをいかに地域が動くか。個にさらに寄り添うべき。

委員：実用的な学びは地域にも参加する形で理解している。やってみなくてはわからないところがある。年間のイメージをさらに持てると良い。

委員：各方面と裾野を広げていけば、実用的な学びにつながるのではないか。

委員：ウェルビーイングの内容は、以前は地域や家庭が担っていた気がする。経営方針のスタンスや考えを地域にどのように浸透させていくか。

校長：伝えることは難しい。児童には失敗から学んでほしい。例えば社会の授業で測量の人材は派遣できるか。

委員：ボランティアだけだと難しい。理解が必要になる。

委員：授業が進めていく途中や失敗から学んでいけると良い。

委員：算数の学習にも関係があることに気付けると良い。

委員：現場監督が必要などの気付きが生まれると良い。

委員：目標やねらいを具体で伝えられるとさらに活発になるのではないか。

委員：目的の共有がやはり必要だと感じる。

（2）オーセンティックな学びの推進について

副委員長：専門性の高い人材を授業に活用してもらいたい。参加した側にもメリットがあると良いという意見があった。社会貢献や充足感があるものを考えた。

目的がはっきりとあるとさらによい協力 見た人が分かりやすい表にした。裏面は登録方法をのせた。どれだけ各家庭に伝わるかわからないが実践していきたい。

委員：活動中の保険はどのようにするか。

教頭：社会福祉協議会のボランティア保険を進めていく方向。

委員：保険を個人のものかボランティア保険なのか提案してみるのはいかがでしょうか。これにより市全体にもかかわる問題である。

委員：保護者以外の協力者をどこまで許容するか。

教頭：現段階では地域、保護者で考えている。

校長：BANDで周知してはどうか。

委員：学校経由での掲載を考えている。学期に1回出していきたい。

(3) 増築工事に伴う課題点について

教頭：空き教室がなく、放送室、特別教室をフル活用している状況である。今後、体育倉庫がなくなる。現段階では飼育小屋を活用予定である。また、8月より登下校方法が変わる。6月にトライアルを行う。一旦校庭に全班通してから、各学年の昇降口に移動する方向で考えている。

(4) その他

・なるこへの取組について

委員：六小の名前を借り、地域の郷土愛、自尊心を育むことが目的である。市で登録している方が指導する。

・メイあさかより

委員：メイあさかセンターニュース65号発刊。①絵の交流継続、現地の絵を見る様子を動画で見ることができる。引き続き新しい情報を発信していきたい。

4 閉会のことば

・次回の運営委員会の開催は5月27日（土）8：45～を予定。

協議後授業参観していただく。

・第3回学区運営協議会は6月30日（金）9：00～を予定。